

題材の目標

- (1) 形や色彩、明暗、質感、素材などが感情にもたらす効果を基に、よさや美しさなどを捉えることを理解することができる。鉛筆や絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すことができる。
- (2) 身近なものを見つめ感じ取った形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、身近なものの特徴や美しさなどを基に構成を練ったり、意図に応じて工夫して表現したりする学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

【準備等】タブレット端末、描画材料、筆記用具

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 参考作品を鑑賞する。</p> <p>★身近なものをよく観察し特徴や美しさを見つけよう。</p> <p>○素材の質感を表すのに何が必要かを考える。</p> <p>○教科書の作品から作者が自然や身近なものからどのような特徴や美しさを感じ取ったのかを話し合う。</p> <p>★モチーフを選択し、主題を決めよう。</p> <p>○自然や身近なものをさまざまな視点から観察し、スケッチをして自分が注目した特徴や美しさをまとめる。</p> <p>2 主題を基にスケッチし、制作する。</p> <p>★そのものから感じ取った特徴や美しさを表現するために有効な描き方を工夫しよう。</p> <p>○形や色彩、明暗、質感に着目し、自分なりの方法でスケッチを描く。</p> <p>3 鑑賞会を行う。</p> <p>★級友の作品の魅力や工夫したところを感じ取ろう。</p> <p>○他者の作品を鑑賞し、級友が対象から感じ取った形や色彩、質感などの特徴や美しさを表現するためにどのような表現の工夫をしたかを話し合う。</p>	<p>・作者が対象のどこを見て特徴を感じ取ったのかを考えさせる。</p> <p>・「造形的な視点」について確認をする。</p> <p>【評】身近なものの形や色彩、質感を表現している作者の意図や工夫を考え、鑑賞する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・自然や身近なものの中から見つけた形や色彩の特徴、よさを挙げさせモチーフを選択させる。</p> <p>・教科書 p 62 の 2 次元コードを読み取り、視聴した内容から描くための道具や描き方を考えさせる。</p> <p>【評】身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表現することに関心をもち、意欲的に取り組む活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・使用する描画材料について、その特徴や使用方法を確認させる。</p> <p>・形や色彩、明暗、質感などの特徴や美しさを表現するのに有効な線の強さや水加減などを考えさせる。</p> <p>【評】形や色彩、明暗、質感に着目し、特徴、印象、美しさを捉え、鉛筆や絵の具などを工夫して表す活動から「知識・技能」を評価する。</p> <p>・級友が対象から感じ取った形や色彩、質感などの特徴や美しさは何か、特徴や美しさを表現するためにどのような工夫をしたかを想像しながら鑑賞させる。</p> <p>【評】造形的なよさや美しさを感じ取り、質感などの工夫を考えて鑑賞をする活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】

本題材は、入学したばかりの生徒に写実的な表現のみを追究することによる苦手意識をつくらないようにしたい。図式的な表現様式を用いていても、よく観察し、よさや美しさを感じ取り、スケッチをする対象に愛着がもてるような指導を行いたい。また、さまざまな描画材料で描くことを通して基礎的な技能を身に付け、対象のもつよさや美しさを深く感じ取ることの大切さ、自分なりの表し方を工夫することなど、表現の多様さや豊かさに触れさせ、表現することを愛好していけるように指導したい。